

全国学童保育指導員学校

6月4日（日）

大阪市立大学にて

午前中に全体会が行われました。

「学童保育の生活で大切にしたいこと」として、大阪大谷大学の長瀬美子先生の講義がありました。

子どもの個性を尊重し、コミュニケーションを大切にして、生活、遊び、行事の中で人間関係を育てていく事の役割を再度認識しました。

午後からは分科会がありました。今後の学童保育生活に生かせようと、指導員それぞれが自分に必要な講義を選択し、自己研鑽に努めました。



学童保育指導員研修

6月13日（火）事務局にて

マナー・ソリューションの樋口先生に来て頂きました。

学童保育の目的や役割について、学童保育指導員の遵守事項や心構え等分かりやすくお話して頂きました。

指導員は、子ども達一人ひとりの顔色、表情、行動「ノンバーバル（非言語）」、言動「バーバル」を瞬時に受け止め、適切な関わりを持つように心掛けていくようにし、常に「アサーティブ」な表現（自分の気持ちもOK、相手の気持ちもOK）でお互い尊重できる関係を築いていけるように努めれば、みんなが過ごしやすくなると思います。

職務の遂行とともに、子ども達に対して、保護者に対して、又学校等に対して細やかな気配りを意識し、子ども達がのびのびと安全に過ごせるように、一人ひとりに合った方法で保育を行っていきたいと思います。

